

# 業界の理解促進に奮闘

## 「こめゆきくん」本格始動間近



新潟県土木部が県内建設業の役割、重要性をPRするために制作したマスコットキャラクター「こめゆきくん」の写真が2019年度から本格的に活動を始める。同県の名産品を取り入れた愛くるしい姿を武器に、業界の理解促進に向け奮闘していく。

こめゆきくんは、県南魚沼

地域振興局地域整備部の若手職員が発案。一部地域では既にデビューしていたが、地域建設業を下支えする観点から県土木部全体で全面展開する

こととした。

新潟県産のお米が大好きな雪男で、ヘルメットから突き出た耳は雪下にんじん。建設機械を巧みに操作し、災害対応を使命の1つに掲げる。

同部の19年度予算案にイラストを掲載している。着ぐるみなどの製作は未定となっている。

また、同予算案（前年度比10・6%増の1520億2176万円）には、基本方針として▽安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟▽地域経済が元気で活力のある新潟

を設定している。

13年度予算案から明記していた「三方良しの公共事業改革」の推進については、一定程度浸透したため、今回は盛り込んでいないものの、その考え方や取り組みは継続する方針だ。

